

筑波大学名誉教授の會會報

第4号

1998年7月発行
〈題字：中村伸夫〉

目次

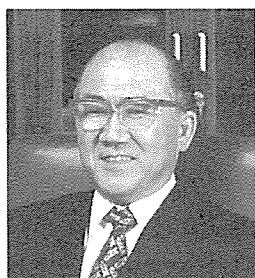
学長就任の御挨拶	北原 保雄	2
大学の近況		2
〔芸術〕はいま	三田村峻右	3
「近況」	蓮 精	3
会務報告	花田 毅一	4



大学会館

学長就任の御挨拶

学長 北原保雄

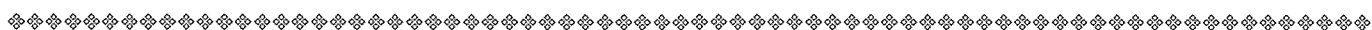


本年4月1日付をもって筑波大学長に任命されました。私は、開学当初から本学に勤務しておりますので、名誉教授の皆様方全員に直接、間接に御指導いただいていることとなります。ただ、名簿を拝見しますと、長老の方や専門の離れている方でお名前とお顔とが一致しない方もいらっしゃいます。失礼なことがあるかもしれませんが、よろしく願いたします。

私は、東京教育大学文学部で国語学（本学では日本語学と呼んでいますが）を専攻し、本学では第一学群人文学類と大学院博士課程芸・言語研究科で、日本語学を担当しておりました。本学の名誉教授では、中田祝夫、馬淵和夫、小松英雄の三先生が、学部・大学院を通しての恩師であり、その間、小西甚一先生には、国文学と能・狂言のサークル活動で多大な御指導をいただきました。

上記のような出自ですので、初めての文系学長だと騒がれたり、文系の学長で大丈夫かと危ぶまれたりしましたが、私は、文系の人間としては、考え方も興味の持ち方も、理系的で、理系の人の方がむしろ馬が合うことが多いくらいですので、専門的なところを補ってもらえば、心配はないと思っております。それよりも、今までにはなかった、あるいは乏しかった文系的な発想を加味して、バランスのとれた総合大学を創っていきたくて考えております。

今年、開学25周年にあたり、本学も一つの節目を迎えることとなります。ささやかな記念式典も考えていますが、これを機に、先生方の築き上げてくださった輝かしい実績を大切にしながらも、本学が21世紀にも主導的地位を堅持して生きつづけるための大学改革は何かを検討し直し、本学の特色がはっきり見えてくるような改革を推進していきたいと考えております。どうかよろしく御指導、御支援のほどお願い申し上げます。



大学の近況

平成10年3月末を以て、江崎玲於奈学長が任期満了のため、辞任され、4月1日付で、北原保雄氏が新学長になりました。なお、副学長、学群長、課程長はつぎの通りです。

教育担当 名取 亮（電子・情報工学系）

研究担当 岩崎 洋一（物理学系）

医療・学生生活 長谷川 鎮雄（臨床医学系）

改革担当 平林 民雄（生物科学系）

総務担当 桑原 敏明（教育学系）

第一学群長 野田 浩司

第二学群長 大濱 徹也

第三学群長 板橋 秀一

体育専門学群長 朽堀 申二

芸術専門学群長 三田村 峻右

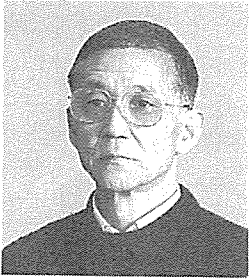
医学専門学群長 三井 利夫

大学院修士課程長 大島 宣雄

大学院博士課程長 楠本捷一朗

[芸術] はいま

芸術専門学群長 三田村峻右



初代芸術専門学群長松木先生をはじめ名誉教授の諸先生方の献身的な尽力により学群・学系・研究科が開設されて以来、学群・研究科併せて2,000名を越える卒業・修了生を送り出しました。それらの作品保存のため、昨年度末に芸術資料室を大改修し、教官及び学生作品の収蔵を開始したところです。名誉教授の先生方にも貴重な作品をご寄贈いただきました。この紙面を借りて、心から厚く御礼申し上げます。

と同時に、「筑波大学芸術賞等表彰規定」を制定し、卒業・修了制作の中から優秀作品を選定して表彰し、収蔵することとしました。第一回の昨年度は、筑波大学芸術賞3点(学群2点、研究科1点)、芸術専門学群長賞4点、芸術研究科長賞5点を選出しました。なお、学群の芸術賞受賞者には、卒業式当日、筑波学都資金財団奨学金が財団理事長より贈られました。

これら卒業・修了生の中で、現在最も知名度の高いのは、「明和電気」と名乗るグループでしょう。土佐信道(群平2卒、MC4修)が兄と組んでソニー・アート・アーティスト大賞を得て以来、工員服のいでたちで手作りの楽器を携えアート・パフォーマーとしてNHKやテレビ東京系列を通じて若者の間でなぜか人気を博しているのです。続いて、同じ番組の「誰でもピカソ」第1回アート・バトル優勝者4人組の「グラインダー・マン」(群8)や、子供たちに人気のキャラクター「ポケット・モンスター」の石原恒和(群昭54、MC57)、さらにはCGの原田大三郎(MC57)、CD ROMの庄野晴彦(MC59)、また現代日本美術展大賞の岩井俊雄(群59、MC61)、昨年度第1回文化庁メディア・アートフェスティバル大賞の近森基(MC9)らが、「メディアの筑波派」として知られつつあります。

今回はちょっぴり「総合造形」の我田引水になってしまいましたが、これは時流にのった若い世代の活躍の一端であり、より年期のかかる造形分野の活動については、いずれ続報としてお知らせできるかと思えます。



近 況

元物理工学系 蓮 精



小さな会社に行って、ささやかな仕事を続けております。成果があがったならば、試作品を皆様のお目にかけてたいと思っています。さて話は全く変り、私の年末の願いは大学の歴史を東京高師発足に逆って調べ書き残すことです。我が大学位、波瀾に富んだ歴史をもつ学校は珍しいと思います。この波瀾は日本の国の歴史、社会の変化に伴って起っただけに、その歴史としての興味は、我々当事者以外の人々の関心にも値いすると思えます。

会務報告

花田 毅一

平成10年度第1回役員会議事

日 時：平成10年3月7日（土）午後2時

会 場：名溪会館

出 席：松木会長ほか15名

議 事

1. 新役員の任期決定について

現在任期途中の役員を含めて、半舷上陸方式を維持するため、新役員を任期2年（平成11年12月まで）の役員と任期1年（10年12月まで）の役員に振り分けた。学群ごとに出席役員の協議により、別表役員名簿に記載の通り任期を決定した。

2. 会則改正について

学系（学校教育部を含む）ごとに役員を出すように改められたことに伴い、このことに関する会則（第5条）の改正を行うため、次の役員会において改正案を審議し、本年秋の総会で承認を受けることにした。

3. 報告

- 1) 庶務関係 昨年12月の総会以降報告すべき事項なし。
- 2) 会報の刊行 会報第3号が10年1月に刊行された。
- 3) 会計関係 配付資料に基づいて報告され、承認された。

4. その他

平成10年度総会及び総会前の役員会の開催地及び開催時期について意見交換を行った。

また、現役員の任期が本年12月に切れる学系からは後任候補を出して頂き、役員会で新役員名簿案を作成して総会の承認を受けることにした。

以上

平成10年度第1回役員会議事録

日 時：平成10年3月7日（土）午後2時～3時30分

会 場：茗溪会館

出 席：松木会長ほか15名（菅野，花田，島岡，中川，三好，池田，鈴木，青山，安井，渡邊，本間，寄金，藤田，真保，浅井）

議 事

1. 平成9年12月新役員の任期決定について

平成9年12月以降学系ごとに役員を出すように改められたことに伴い、現在任期途中の役員を含めて、半舷上陸方式を維持するため、新役員を任期2年（11年12月まで）の役員と任期1年（10年12月まで）の役員に振り分けた。学群ごとに出席役員の協議により、別紙役員名簿に記載の通り任期を決定した。

2. 会則改正について

昨年12月の総会において、学系（学校教育部を含む）ごとに役員を出すように改められたが、このことに関する会則（第5条）の改正を行わなかったため、次の役員会（10月3日を予定）において改正案を審議し、総会で承認を受けることにした。なお、次のような改正案が考えられた。

第5条 本会に、次の役員を置く。

（3）幹事 若干名を（3）幹事 旧所属学系（学校教育部を含む）ごとに1名または若干名に変更

3. 報告

- 1) 庶務関係 昨年12月の総会以降報告すべき事項なし。
- 2) 会報の刊行 会報第3号が10年1月に刊行された。

3) 会計関係 配付資料に基づいて報告され、承認された。

4. その他

平成10年度総会の開催及び総会前の役員会の開催について

1. 総会 従来1年おきに学長招待を受けて筑波大学で開催してきたが、今後学長招待はなくなる見込みである。従って学長、副学長などを名誉教授の会が招待することになるが、開催地を筑波にするか東京にするか検討を要する。この日の階段では一応筑波で開催することとし、11月9日～13日ごろの土曜、日曜以外を目安として、学長の都合に合わせて決めることにした。
2. 役員会 総会の40日前ころを目安とし、10月3日（土）午後2時に開催することにした。また、現役員任期が10年12月に切れる学系からは後任候補を出して頂き、新役員名簿案を作成して総会の承認を受けることにした。

以上

筑波大学名誉教授の会 平成9年度会計報告 (9.4.1～10.3.31)

収入の部

1. 前年度繰越金	826,608円
2. 預金利子	1,414円
3. 会費	228,460円
4. 総会会費	525,000円
合計	1,581,482円

支出の部

1. 会議費（2回）	59,956円
2. 電報料（4件）	24,316円
3. 供花等料（1件）	16,380円
4. 会報印刷費（2, 3号）	126,000円
会報発送費	71,660円
5. 総会 会議費等	480,000円
同 講演謝金等	60,000円
小計	838,312円
残額（次年度繰越）	743,170円
合計	1,581,482円

有価証券保有状況（平成9年度末）

定額貯金 1,811,000円

備考

収入の部

1. 会費は、平成9年度新名誉教授からの入会者22名（24名中）及び未加入名誉教授からの入会者1名（8名中）の計23名分です。

支出の部

1. 会議費は、役員会（2回開催）における会場費等です。
2. 電報料は、江原有信、坂柳義巳、池永勝雄、平井淳の各先生の叙勲に対する祝電です。
3. 供花料等は、故阿南功一先生に対する生花代です。

以上

筑波大学名誉教授の会役員名簿

平成9年12月～10年12月又は11年12月

学系等	役員	任期	備考
哲学・思想学系	工藤 喜作	9年12月～11年12月	
歴史・人類学系	大藪 正哉	9年12月～10年12月	
文芸・言語学系	森野 宗明	9年12月～11年12月	
現代語・現代文化学系	島岡 丘	9年12月～10年12月	
社会科学系	長尾 昭哉	9年12月～11年12月	
数学系	中川 良祐	9年12月～10年12月	
物理学系	三好 昭一	9年12月～11年12月	
化学系	池田 長生	9年12月～10年12月	
地球科学系	渡部 景隆	9年12月～10年12月	
教育学系	高倉 翔	9年12月～11年12月	
心理学系	大野 清志	9年12月～10年12月	(庶務担当)
心身障害学系	佐藤 泰正	9年12月～11年12月	(留任)
生物科学系	鈴木 恕	9年12月～10年12月	
農林学系	佐藤 昭二	9年12月～11年12月	
農林工学系	青山 経雄	9年12月～11年12月	
応用生物化学系	安井 恒男	9年12月～10年12月	
社会工学系	渡邊 浩	9年12月～10年12月	
物理工学系	田崎 明	9年12月～11年12月	
物質工学系	南日 康夫	9年12月～11年12月	
構造工学系	本間 琢也	9年12月～11年12月	
電子・情報工学系	未 定	9年12月～10年12月	
体育科学系	寄金 義紀	9年12月～10年12月	
体育科学系	藤田 紀盛	9年12月～10年12月	(会計担当)
体育科学系	大木昭一郎	9年12月～11年12月	(留任, 会報担当)
芸術学系	杉田 豊	9年12月～10年12月	
芸術学系	真保 亨	9年12月～11年12月	
基礎医学系	田村 昇	9年12月～10年12月	
臨床医学系	浅井 克晏	9年12月～11年12月	
社会医学系	山口 誠哉	9年12月～10年12月	
学校教育部	小林 学	9年12月～11年12月	
会長	松木 重雄	8年12月～10年12月	
副会長	菅野 三郎	9年12月～11年12月	
副会長	花田 毅一	8年12月～10年12月	
会報担当	鈴木 博雄	9年12月～11年12月	

編集後記

三月末、発行予定にしておりましたが、大学執行部の交替がありましたので、時期を少し遅らせました。会員の消息については、出来るだけ掲載したいと存じますので、ご存じの方は、編集係か大学会館の係に御一報下さい。

郵送費節約のため、これまで8頁建てでしたが、今回より6頁建てとしました。御了承下さい。

サッカーW杯では、日本代表に選出された筑波大学卒の井原、中山両君が大活躍しています。ご声援下さい。

編集担当 鈴木 博雄

大木昭一郎